

磨いた技能を競い、「働く」に活かす

技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会



第57回 技能五輪全国大会 金賞
安部 雪菜さん
大原和服専門学園

「これが最後」4回目の挑戦で念願の金賞に輝く

技能五輪は、目標を持ち、技術を磨ききっかけになる

技能五輪全国大会は4回目の出場でした。初出場は在学中の3年次で、一緒に出場した同級生と先輩は入賞しましたが、私だけ選外でした。2回目は4年次。敢闘賞をいただきましたが、同級生が金賞を獲得し、自分もあきらめないぞと再挑戦を誓いました。卒業後も、学園で教員を務めながら出場しましたが、納得できる結果ではありませんでした。これが最後と決めて出場した4回目。プロの和裁士としての仕事に打ちこめる環境で、技術の研さんに努めました。

競技は着物の仕立て。1日目に6時間、2日目に3時間の計9時間で、片袖作りから表たて縫い、うら衽付、完成までの出来映えで競います。日々の仕事が競技内容になるので、普段から技能五輪を想定して取り組みました。

結果発表ではなかなか名前を呼ばれず、不安が募りました。抜いた記憶のない針があり、失格も頭によぎりましたが、次の瞬間、自分の名前が呼ばれました。表彰台へと続くレッドカーペットを歩くうちに実感が湧き、練習を一緒にやってくれた人やアドバイスをくれた人に感謝の思いがこみ上げました。

技能五輪にチャレンジすることで、普段から目標や緊張感を持つことができました。自分の技術を見つめ直すこともでき、仕事の効率アップにもつながっていると思います。

「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえる和裁士に

高校は普通科卒ですが、絵を描いたり、何かを手作りしたりすることが好きで、いつか何かを作る仕事に就きたいと思っていました。映画『舞妓Haaaaan!!!』で華やかな着物を見て、これだ!と思い、この道に進みました。

高校で服飾などを学んだ同級生たちに比べて、最初は何もできなくて、でも負けたくない気持ちで学びました。だんだんできるようになると、先生からも褒められ、何を作っても楽しいと思えるようになりました。和裁にこれほどのめり込むとは思っていませんでした。

2020年の春から衣裳会社に勤め、舞台や映画で着られる和装づくりに携わる予定です。和裁士は信頼してもらうことが一番大切だと思います。技術を磨き、いろいろな人から学び、新しいことにもチャレンジして、「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえるような和裁士になりたいです。



授賞式の表彰台にて



PROFILE 安部 雪菜 (あべ ゆきな)

高校卒業後、大原和服専門学園和裁研究科(4年制)に入學。卒業後、同学園の教員を務める。2020年春より東京の衣裳会社へ就職。1級和裁技能士、職業訓練指導員(和裁科)。第55回技能五輪全国大会(2017年)敢闘賞。第64回全国和裁技術コンクール(2019年)内閣総理大臣賞。



正確な仕立てと制限時間に気をつけながら競技課題に取り組む安部さん。

2019年度奈良県代表選手5名が入賞!

「技能五輪全国大会」は、青年技能者(原則23歳以下)が機械組立て、自動車板金、美容、洋菓子製造、ウェブデザインなどの様々な競技課題でそれぞれの技能レベルの日本一を競う大会です。青年技能者に努力目標を与えるとともに、優れた技能に身近に触れる機会を提供することで、各技能の重要性と必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成を図ることを目的として開催されています。

2019年11月に行われた第57回大会に出場した奈良県代表選手では、「和裁」で安部雪菜さん(大原和服専門学園)が金賞に輝いたほか、「造園」で荒木歩さん(奈良県立磯城野高等学校)が銀賞、「木工」で柳翔太さん(株式会社きんでん奈良支

店)が銅賞に入賞しました。

「全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)」は、障害のある方々が職場などで日頃培った技能を競う大会です。職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらうことで、その雇用の促進を図ることを目的に開催されています。2019年11月に行われた第39回大会に出場した奈良県代表選手のうち、「パソコンデータ入力」で村上茜さん(株式会社三光丸)が銀賞、「ワード・プロセッサ」で安達芽衣さん(なんとチャレンジド株式会社)が銅賞に入賞しました。



第57回 技能五輪全国大会 銀賞
荒木 歩さん (あらかみ あゆみ)
奈良県立磯城野高等学校



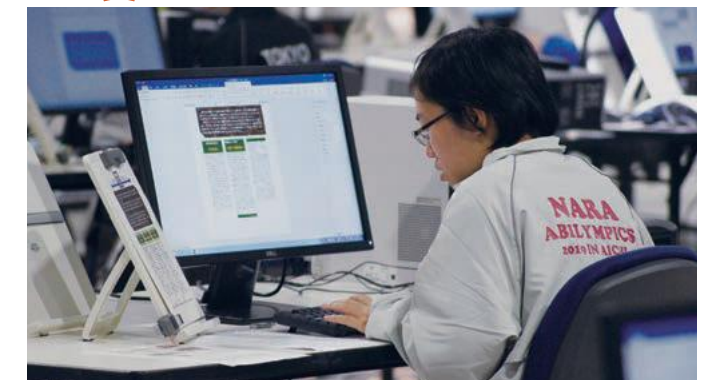
第57回 技能五輪全国大会 銅賞
柳 翔太さん (やなぎ しょうた)
株式会社きんでん奈良支店



第39回 全国障害者技能競技大会 銀賞
村上 茜さん (むらかみ あかね)
株式会社三光丸



第39回 全国障害者技能競技大会 銅賞
安達 芽衣さん (あんだつ めい)
なんとチャレンジド株式会社





社員の価値を高める活動に“社員が主役”で取り組んでいます

社員の資格取得を会社でサポート！

弊社では、高い品質を保持し、作業従事者の安全を確保するために必要な「電気工事施工管理技士」などの資格取得に向けて、費用を負担するのはもちろん、資格取得後には「資格祝金」を贈呈しています。資格取得者が振り込まれた祝金の額を知って驚くこともあります。業務上必要な資格ばかりではなく、自己研鑽のために取得したいという資格についても上司の認可が得られたものについては、会社で費用を負担して取得してもらっています。そして、こうした資格取得や研修については、「教育訓練計画書」として社内で開催し、周知を徹底しています。

災害防止における情報共有と社員の提案活動の実施

このような公的な資格のほかにも、コーキングやネイラー（釘打ち機）など9種類の技術認定資格を社内資格として設けており、講義を受けて試験を合格した者がその業務に就いています。品質や安全性の確保という面では、他事業所で発生した災害を全社で情報共有し、訓練内容を見直すなどの再発防止に努めています。現場環境改善のために、社員からの自発的な提案活動を積極的に進めており、提案件数によっては評価においてプラスに働いています。また、社員はグループ企業内で共有する当社独自システムの「e-ラーニング」でインターネット使用時に必要なコンプライアンス遵守を徹底した上で、現場での危険対策などを、映像を使って学んでいます。

能力開発のためのガイドライン整備と働きやすい職場づくりの実現へ

職業能力の開発の面では今後、ある一定の勤続年数や等級になると受けるべき研修が誰にも明確になるよう、ガイドラインの整備が急務だと考えています。「働きやすい職場づくり」としては、本社の指針で社員による取り組みを進めているところで、当事業所では、各部署から集められたメンバーによる「わかかさプロジェクト」として、次の2点に取り組んでいます。1つ目は、社員のモラル・マナー向上で、電話対応などのビジネスマナー研修、2つ目はレクリエーションや社員同士のコミュニケーションをテーマに取組みを行っています。ご意見箱では社員の声を拾い上げ、その声から休憩室の畳スペースの設置も実現しました。



会社DATA
 事業所長：森脇 秀城
 事業内容：ユニット住宅の製造
 所在地：奈良市西九条町4-3-1
 従業員：262人
 TEL：0742-61-1816
 FAX：0742-62-6782
 URL：https://hc.sekisuiheim.com

セキスイハイム工業株式会社 近畿事業所（平成30年度職業能力開発推進部門）

柱と梁を一体化した独自の構造体を特色とするセキスイハイム工業様のユニット住宅。工場内での製造のため、現場の社員には専門性の高い知識と技術が求められます。「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業・職業能力開発推進部門」を表彰されたことについて、総務部の中山康彦グループ長にお話をうかがいました。

“当たり前のこと”として進める働きやすい環境づくり

モチベーションの高い女性社員が多数活躍

当社は、男女分け隔てなく仕事ぶりを評価し、昇進の機会を与えていますが、優れた能力を発揮して活躍する社員に多くの女性がいました。当社ではこの6年で10数人の新卒者を採用しています。男子学生よりも女子学生は県内で働きたいという思いを多く持っていることから、当社への入社を強く希望してくれる学生が少なくありません。当然、入社後の女性社員のモチベーションも違うわけで、おのずと当社で活躍する女性が増えたのだと思います。当社では、女性社員に能力を発揮してもらうために必要な制度を整えています。万一、急な休みでもカバーできるよう、二人体制で同一業務に当たっているのもその一例です。

女性目線とアイデアで新商品を開発

靴下という製品は、家族のものを含めて女性が購入することが多く、それならば、女性の目線とアイデアで製品づくりをするのが良いだろうと、企画開発にも



会社DATA
 代表取締役：西垣 和俊
 事業内容：靴下の企画・製造・販売
 所在地：大和高田市大谷61
 従業員：40人
 TEL：0745-52-0088
 FAX：0745-22-5929
 URL：http://www.nishikutu.co.jp

西垣靴下株式会社 （平成30年度女性活躍推進部門）

おしゃれな雑貨店にキューブ型のボックスで並ぶ、かわいい靴下。西垣靴下株式会社様の女性社員たちが消費者としての視点や感性で企画開発した製品です。平成30年度「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業・女性活躍推進部門」で表彰された同社の西垣和俊社長にお話をうかがいました。

積極的に関わってもらっています。そうして誕生した製品は、1足2千円近い価格のものもありますが、外部デザイナーの協力を得てデザインされたおしゃれなパッケージに入って、雑貨店やオンラインショップで販売されています。最近では、口ゴムのない靴下を開発しました。ずり落ちた時の安全性を考えて、当初は開発の許可を出しませんでした。むくんだ足に口ゴムは痛いという女性社員のリアルな発想から、口ゴムがなくてもずり落ちない靴下の製品化に成功。今年11月には公益社団法人発明協会の「発明奨励賞」を受賞しています。



高付加価値の商品開発による労働環境改善の実現へ

国で推進している「働き方改革」に向けて、当社では残業時間の削減などを“当たり前のこと”として取り組んでいます。社員同士の親睦を図る懇親会も、以前は泊りがけでしたが、パートの方も参加できるよう出勤日に日帰り旅行へ変更しました。今後の抱負としては、給与や休日などの待遇をできるだけ大企業に近づけていきたいですね。慢性的不況業種といわれる繊維業ですが、高付加価値の商品開発などにより、働く環境の改善を実現したい。そのためには、女性社員の能力を正當に評価し、さらに高いモチベーションを引き出したいと考えています。



支援事業や学びの機会を積極的に活用する100年企業

会社発展のため別視点から学ぶことが必要

これまで奈良県のさまざまな事業を通して支援いただいております。「働き方改革専門家派遣事業」もその流れで受けてみようと考えました。ちょうど、これまでの製造に加え、自社ブランドを作って直売する販売強化の方針を固めた頃で、「改革」の必要性を感じていたためです。

具体的には、社会保険労務士や中小企業診断士の方々にご指導いただき、就業規則の見直しや人材採用、健康経営などについて進めていきました。

就業規則は今の時代にあわない部分もあり、育児休業・介護休業、ハラスメント防止などについて明記するなど改訂しました。2018年10月に完成し、全従業員に説明しました。即戦力となる人材採用の点では、ともに企業の第一線で活躍されていた方2名とご縁があり、それぞれ海外営業と製造管理全般を任せています。

会社がこれからも発展していくためには、知らないことを教わり、会社全体のレベルアップを図っていくしかないと考えています。これまで疑問にも思わなかったことも、専門家の方から、こういう見方もありますよと指摘され、気づかされたことがいくつもありました。

「働きやすさ」は従業員にも会社にもプラス

当社は元々、堅苦しくなく、大らかな社風があります。それが働き方の変化にも表れていて、かつてはこの作業は誰かがやると決めていましたが、15年前から、すべての業務をひと通りできるように仕事を覚えてもらっています。一人のできる仕事が増え、休んだ従業員の業務も、みんなでカバーしあえるようになりました。お子さんの発熱などで急な休みも取りやすくなり、また、従業員から「仕事を丁寧に教えてもらい、

働くのが楽しい」、「家族に表情が明るくなったと言われた」という声も聞きます。

働きやすい会社にしていこうという取り組みは、例えば、これまで男性の職場という先入観があった製造工場に、現在2人の女性が頑張ってくれているなど、会社のプラスになる人材採用にもつながっています。

「よし、それやってみよう」の精神でトライ

編み物は、難しい、時間がかかるというイメージを持たれます。編み物の入口を広くしようと、必要なものをまとめたキットや動画コンテンツ、革製品などのクラフトと編み物を合わせた小物づくりの提案など、一歩踏み出してもらいやすい取り組みも展開しています。

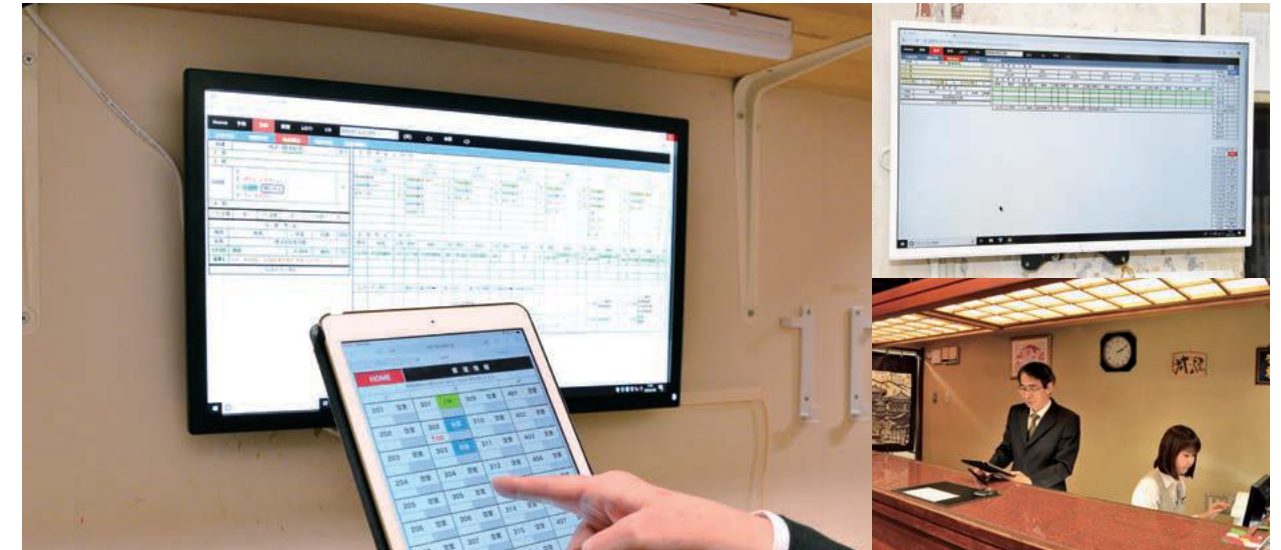
今回の専門家派遣事業の成果のひとつに、奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業に登録できたことが挙げられます。また、協会けんぽの「職場まるごと健康チャレンジ」では2019年に金賞をいただきました。これからも当社は「これいいんとちゃうか」「よし、それやってみよう」とそんな調子でいろいろなことトライしていこうと思っています。



会社DATA
 代表取締役：尾山 恭子
 所在地：生駒市高山町4368
 従業員：31人
 TEL：0743-78-1108
 FAX：0743-79-0882
 URL：http://www.amibari.jp/

近畿編針株式会社

1916年に創業し、竹製の編針の製造・販売を行う。創業100周年を機に立ち上げた新ブランド「Seeknit」を国内外で展開中。平成29年度奈良県海外展開リーディングカンパニー表彰。2019年、奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録。専門家派遣で取り組んだ内容や働き方改革について、同社の尾山恭子社長、尾山敬常務、魚住光正氏にお話をうかがいました。



紙からデジタルへ。老舗観光ホテルがIT化で業務改善。「満足度向上」を目指す

ITで見える化を進め、作業効率を改善

「働き方」が問われる昨今、私たちも奈良県の働き方改革専門家派遣事業（平成29年度）や、観光庁と日本旅館協会が連携する「宿泊業の生産性向上」のためのワークショップ（平成30年度）のタイミングで改善に取り組もうと動き出しました。

まず、従業員から問題点や困っていることを挙げてもらいました。それらを重みづけ（点数化）した結果、優先して解決すべき課題を設定しました。それらを改善する方法として、従来の紙ベースを見直し、デジタルへの移行を図りました。

自社で構築した「春日ホテルシステム（KHS）」（仮称）はパソコンやタブレット端末、スマートフォンで操作が可能です。その結果、客室情報、未着やチェックイン、チェックアウト、食事の内容や時間、清掃状況などが見える化され、情報の連絡・共有がスムーズになりました。

苦手な人も「やってみよう」という気になる

従来の紙メモや電話でのやり取りでは、お客様から食事の内容や時間の変更希望があった場合、すべての関係部署に周知しなければならず、時間と手間がかかっていました。また、客室清掃時には係員がフロン



会社DATA
 代表取締役社長：増田 友宏
 所在地：奈良市登大路町40
 従業員：107人
 TEL：0742-22-4031
 FAX：0742-26-6966
 URL：http://www.kasuga-hotel.co.jp/

春日ホテル

近鉄奈良駅から興福寺・奈良公園方面へ徒歩約2分の好立地に、校舎造りの装いで立つ和風の宿。1954年創業。露天風呂付和室など部屋数31。専門家派遣で取り組んだ内容や働き方改革について、同ホテルの増田友宏社長、古城吉和氏にお話をうかがいました。

トへ、お客様がチェックアウトされたか何度も電話で問い合わせしていました。フロントも忙しく、対応できないこともあります。それが今ではKHSに入力すると、一目瞭然です。



改善前は手書きのメモがびっしりと貼られていました。

デジタルに弱い従業員も、デジタル化の効果や便利さを体感すると、やってみようという気になります。はじめは「コンピューターに入力なんてできない」と言っていた人も、今ではきちんと入力してくれています。

1年目で3338時間・480万円の削減効果

これまでの改善やIT化の取り組みは、最終的には利益の確保に貢献することが目的ですが、お客様と従業員、それぞれの満足度向上にもつなげなければ意味がありません。実際に、従業員の労働時間、残業時間は短縮していますし、負担も軽減されています。

平成30年8月からのKHSの運用1年目は、当ホテル全体で3338時間の作業時間を削減することができ、額にして480万円の削減効果が得られました。

また、お客様のアンケートを拝見すると、宿泊翌日の奈良観光について、従業員からの提案や案内を評価していただいています。これも業務の負担が減り、時間的にも気持ちの面でも余裕を持っておもてなしができるようになったからだろうと思っています。

これからもPDCAを繰り返しながら、KHSをさらに活用して、作業の標準化を推進し、人の動き（人数や配置）にも改善効果を出すことを目指していきます。



PROFILE 福井 晶崇 (ふくい あきたか)

有限会社大和園（フクイフラワーショップ）代表取締役。2015年に奈良県フラワー装飾技能士会の会長に就任。会員の技能向上を図るとともに、国内外でのデモンストレーションなどを通じて花の魅力を発信している。フラワー装飾技能士1級、日本フラワーデザイナー協会講師。

「花をデザインする技能の向上を応援しています」

花を生ける楽しさを知ってほしい

私が会長を務める奈良県フラワー装飾技能士会は、花を生ける楽しさを知ってほしいと、子どもたちが花に触れる機会を設けてきました。私自身も講師を務め、たくさんの学校等に出張しています。最初は「なんで花？」という態度の生徒もいますが、やり始めるとのめり込んでくれます。

県が実施する「技能者のしごと実感事業*」、講習会や作品展、幼稚園児への“花育”、大和路花と緑のフェスティバルなど、各方面に参加して、「人に喜ばれる技術を身につけてほしい」という思いでこれからも続けていきたいと思っています。

技術を高めようという意欲を応援

技能士会の会長としては、自身の技術を磨き、作品を評価してもらおうという向上心を応援しています。



*技能者のしごと実感事業：県内の小中学校を対象に、技能体験教室や実演講話等により優れた技能者が活躍する姿を紹介することで、若年者にもものづくりの魅力や素晴らしさを発信するとともに、技能者という職業に触れる機会を付与し、若年技能者の育成の促進を図る。

10年ほど前からは、全国トップレベルの技能士を講師にお招きして講習会を開催したり、熟練技能士に技を披露してもらったり、新しい技術の習得やスキル向上を目指してもらおう機会づくりに力を入れています。また、技能士会の仲間と海外でもアレンジメントのデモンストレーションを行っています。依頼していた花が届かないトラブルが起きたこともありましたが、意義のある活動だと考えています。

そうした取り組みの成果として、花に関するコンテストで入賞者が増えてきました。若手の育成促進やフラワー装飾技能に注目してもらおう意味でも、若手には技能五輪全国大会や技能グランプリに出場して、金賞や優勝を目指してほしいと思います。

「花って楽しい」のきっかけを仕掛けたい

フラワーアレンジメントが流行した時期もありましたが、現在の個人的な実感として、花の需要は減っていると思います。花博（1990年・大阪）のころと比べると半分程度になっているのではないのでしょうか。

そんな状況の時代ですが、訪れる学校では「家で庭の花を一輪でもいいから生けてみて」と声をかけています。外国人観光客向けの生け花体験やフラワーバレンタインなど、「花って楽しい」と感じてもらえる活動をこれからも提案し、幅広く展開していきたいと思っています。



「技能士になってからが本当の始まり」と話す福井さん。



PROFILE 塚本 進也 (つかもと しんや)

塚本建具株式会社代表取締役。2013年に奈良県建具工業協同組合の理事長に就任。組合員の協力を得て、建具の魅力を発信する事業や活動に注力している。1級建具製作技能士。

「建具のこと、ものづくりの喜びを伝える実技指導を継続しています」

「このままでは…」の危機感から取り組みスタート

建具の業界に限ったことではありませんが、後継者がいない、職人のなり手がいないといった危機感を持っています。このまま放っておいたら高齢化、後継者不足は進行の一途。先細っていくのを何もせずに見ているのではいけないと考え、組合の理事長になった2013年頃から、県内の小学校、中学校、高校へ実技指導に行くようになりました。

県立高等技術専門校の家具工芸科からインターンシップも受け入れています。建具に興味を持ってもらうのを待つのではなく、こちらからアピールしていこうというわけです。私自身は建具を仕事として始めたのは18歳のとき。そうした土台もあり、学生時代に建具やその技術に触れる機会があればいいなと思っていました。



高校生に建具製作の指導をする塚本さん。

やってきたことは間違っていなかった

実技指導では、小学生、中学生はフォトスタンド、高校生は紙貼障子の製作に取り組みます。私は建具とはどんなものか、建具職人になるにはといった話をし

ます。実際の実技指導やどんな内容にするかは、私が理事長を務める奈良県建具工業協同組合の青年部が中心になって考えてくれています。児童・生徒たちと作業をしていると、作る喜びみたいなものが表情から伝わってきます。女子の反応が意外といいこともうれしいですね。

私が指導した生徒のうち、2017年と2018年に1人ずつ、建具業界に入った子がいます。建具の魅力や技能を若い人たちに伝えたいと取り組み始めてから3～4年は反応がありませんでしたが、ようやく成果が出てありがたいですし、何より、みんなでやってきたことが間違っていなかったと手ごたえを得られたことがうれしいです。組合の青年部をはじめ、組合員が手弁当で献身的にやってくれているおかげです。

建具職人を目指す若者を増やしたい

建具の技能が身に着くには5年程度はかかります。辛抱できなくてあきらめた若手もいます。そもそも今の人たちは建具をあまり知りません。まだ「けんぐ」と読まれることもあるほどで、建具を世間にもっとアピールできないかと思案しています。そして、組合員を増やし、横のつながりを築き、建具職人になりたいという若者を安定して受け入れること。今までの取り組みをこれらの実現に結びつけていきたいと考えています。



インターンシップを毎年受け入れていきます。

公共職業訓練で学び、新しいキャリアへ踏み出す

公共職業訓練：求職者の方を対象として実施する職業訓練や、在職中の方のスキルアップを行うための職業訓練など。年間を通じて開講し、障害のある方対象のコースも実施している。



社会福祉法人 嘉耶の会 多機能型事業所はるかぜ
山本 麻恵さん
民間委託訓練 医療事務科 受講

心機一転、医療事務を学び、社会福祉の世界へ 利用者と社会をつなぐ架け橋になりたい

前向きに学べた3カ月。新しい世界に飛び込めました

18年間勤めた保育士を辞め、以前から興味があった医療事務の仕事を探してハローワークに通っていました。そこで担当者に県が実施する民間委託訓練の医療事務科の開講日が近いことを教えられ、心機一転する気持ちで受講しました。

3カ月間の訓練期間に同期として学んだのは、10代の方から子育て中の方まで様々。1週間もたつと和気あいあいとした雰囲気になっていました。私は元々がマイナス思考になりがちな性格ですが、訓練校の先生方は、例えば私が「パソコンができない」と言うと、「キーボードは押せるでしょう。なら、できるよ」といった感じで前向きな気持ちにさせてくれ、とても丁寧に教えてくださいました。

同期の方もみな、それぞれの道で就職し、今でもみんなで会うことがあります。訓練には託児サービスもあり、子育て中のお母さんは「心強かった」と言っていました。

“訓練修了”の際、みんなで各人に向けた「ありがとうノート」を作って交換しました。自分はこんなふうに見られていたんだと、自分を見つめ直すことができ、今でも読み返して励みにしています。

いきいきとした利用者の表情。私も自信を持って働きたい

施設の運営法人のグループには保育施設もあり、保育士としての経験を活かすことも勧められましたが、やはり一念発起して勉強した医療事務に従事したいと、現場で働くことを希望しました。「はるかぜ」では、医療事務だけでなく、利用者が働いたり、活動したりするサポートもしています。

2019年10月にオープンしたカフェに利用者を通い、メニューを作ってお出しするサポートもしています。その方が練習でケーキを作り、職員や他の利用者から「女子力、高いやん」と褒められたときに自信をつかんだような顔になりました。そういう姿を見ると、私も！と思えてきます。また、利用者の方々が就労先の介護老人保健施設や施設の農園など作業を終え、すがすがしい表情で帰ってくると、みなさん、自分の仕事に誇りを持っているんだなあと、うれしくなりますし、それが今の仕事のやりがいになっています。

「はるかぜ」で働くうちに、介護にも興味湧いて、介護職員初任者研修も取得しました。今後は、障がい者の方々と、「自信を持って働き、生活できる場」をつなぐ架け橋として、また「はるかぜ」の縁の下の力持ちの一部になれると思っています。

PROFILE 山本 麻恵 (やまもと あさえ)

高校卒業後、就職するも保育士を志して奈良保育学院に進学。資格取得後、保育士として18年間勤務。2018年11月から民間委託訓練を受けた後「はるかぜ」就職。



「介護職員の資格も取得しました」と福祉の仕事に積極的な山本さん。



株式会社テクニカルリソース
中井 美紀さん

民間委託訓練 Webクリエイティブ科 受講

30代で未経験業界に転職。アパレル販売員から 「クリエイティブな仕事がしたい」と

Webデザイナーに

職場実習のある訓練校を選びました

大学卒業後、アパレル会社に入社しました。会社のグラフィックデザイン業務も任されるようになったことがきっかけで、元々あった「クリエイティブな仕事がしたい」との思いがよみがえり、転職を考えました。私自身よく利用するネットショッピングに興味があったため、ECショップのWebデザイナーを目指そうと、大阪の専門学校に通うことも考えましたが、奈良県内でも専門的に勉強できると知り、民間委託訓練のWebクリエイティブ科に半年間、通いました。

30代で未経験業界への転職を試みることは不安でしたが、未経験者に寄り添ったカリキュラムで、HTMLや画像加工の基礎、Webサイトの構築・デザインの技術を習得できました。

同科には職場実習もあり、私のような未経験者でも企業の現場でWebの専門知識・技術を身につけられると期待していました。実際に実習先で商品ページ制作や商品発送など、ECショップの運営業務をダイレクトに体感することができ、刺激的な毎日でした。

運営するECショップの発展に貢献したい

Webクリエイティブ科で学んだことで、Webページを作れるようになりましたが、入社当初はもちろんわからないことだらけ。商品ページやバナーの画像加工など、できる業務を日々こなしていくと、任されることが少しずつ増え、自信も出てきました。

Webデザイナーはページの見た目の華美さだけでなく、売り上げにつながるユーザビリティを考慮する必要があります。同科で学んでいるとき、制作したWebページやバナーをみんなで講評する授業があり、「どうしてこのデザインなのか」をきちんと考え、説明できるようになりました。今の実務でも根拠のあるデザイン制作ができていると思っています。

ただ、そうは言っても、EC事業はページのデザインひとつで売れ行きや反応が変わります。それがやりがいになるといえば、そうなりますが、常に動くトレンドをつかんでおかないと置いていかれる業界です。

私たちが運営しているECショップでは、スマホケースなど、スマホに関連するアイテムを扱っています。今ではショップページのデザインだけでなく、商品探しや選定、受注管理や顧客対応、梱包・発送まで、幅広く任せてもらえるようになりましたが、新しいことにも挑戦していける会社なので、ECショップのブランド力を高めていながら、オリジナル商品や新しい商材の販売に発展させていきたいと思っています。



PROFILE 中井 美紀 (なかい みき)

名古屋造形大学卒業後、アパレル会社を経て、2016年10月から民間委託訓練Webクリエイティブ科受講。翌年4月株式会社テクニカルリソース入社。Webデザイナーとしてキャリアを積んでいる。



ユーザー視点で商品の魅力を見せるWebデザイナーとして活躍しています。